

TBS
ラジオ
プレス

現場の声を届けます。

2026年7・8・9月号

TBS RADIO
FM90.5+AM95.4

プチ鹿島 赤坂タイムス

プチ鹿島

西川あやの



2026年4月に始まった『プチ鹿島 赤坂タイムス』は、ニュースを中心にラジオで紙面を作る「聴く新聞」をコンセプトとした生放送の新番組。パーソナリティを務めるのは、マキタスポーツ・サンキュータツオとの『東京ポッド許可局』でもおなじみのプチ鹿島と、元文化放送アナウンサーの西川あやの。二人がラジオ新聞記者として、硬軟織り交ぜた最新の話題をお届けしています。

プチ鹿島
赤坂タイムス
毎週㊥
13:00～15:00 放送



出演：プチ鹿島、西川あやの
ニュースを中心に硬軟織り交ぜて幅広い「紙面」を作る生放送。特ダネから小ネタまで、聴く新聞「赤坂タイムス」を一緒に作りましょう。

衝撃の事実発覚

ラジオはほとんど聴かれていない!?

——鹿島さんといえば、TBSラジオでは『東京ポッド許可局』の局員として知っている方も多いと思います。

鹿島 『東京ポッド許可局』は特殊なんですよ。TBSラジオの番組になったのは2013年ですけど、もともと2008年に自主制作のポッドキャストとして始まったもので。仕事もない3人が喫茶店に集まってタラタラしゃべる裏の顔だったのが、そのままの顔になっちゃった。ラジオって、売れている人が夜に裏の顔を見せるのが魅力のひとつだと思うんですけど、僕は逆なんです。先に裏の顔を知られたあと、18年経って表の顔を見せるっていう。

——とはいえ、2014年～2019年には『荒川強啓 デイ・キャッチ!』でニュースプレゼンターを担当、2023年までは山梨のYBSラジオ『はみだししゃべくりラジオ キックス』で10年間パーソナリティを務めました。

鹿島 そういった積み重ねが『赤坂タイムス』につながっているのは光栄ですね。ただそれで言うて、最初に東京のラジオのワイド番組でたっぷり話す時間を与えてくれたのは、文化放送の『武田砂鉄 ラジオマガジン』なんです。半年という短い期間でしたが『ラジオマガジン』で

僕の名前を知ってくれた方も多いので、大変な恩義を感じています。

——『ラジオマガジン』では、2025年10月の番組開始から木曜レギュラーを務めていましたが、2026年の3月に鹿島さんの意向で降板されました。

鹿島 4月から『赤坂タイムス』をやることが決まったので、文化放送にはご理解いただいたうえで、泣く泣く降板の決断をしました。時事ネタを扱う以上、話題も被りますし、何より使い分けをしたくなかったんです。一番関心のあるニュースをどちらかで扱ったら、どちらかは必然的に二番目になる。それはしたくなかったし、そつうのはリスナーにも失礼ですからね。

——文化放送といえば、西川さんも局のアナウンサーとして『西川あやの おいでよ クリエイティブ』でメインパーソナリティを2年間務めていました。

西川 はい。そんな私がまさかTBSラジオでレギュラー番組をやらせていたなんて、当時は思ってもいませんでした。

——2024年に文化放送を退社されたあと、どんな心境の変化がありましたか。

西川 退社して一番驚いたのは、世の中にラジオを聴いている人が少ないこと。私は社員アナウン

サーでしたので、毎日ラジオ局に通い、政治でも経済でも、社会で起きていることについて専門家の方から話を聞くことが日常で、いろんな問題意識や視点を自然と持つことができていました。でも退社してラジオ局ではない現場でお仕事させていたなくなったら、それまでラジオで普通に話していたことが共有できなくなりました。私が当然だと思っていた問題意識は、全然……とは言わないまでも、ほんの一部の人にしか届いていなかったことを初めて知りました。衝撃でした。だから今考えると、ラジオ局にいたことで、まわりにはラジオが大好きな人たちがいるし、番組で一緒に働く方たちも基本的には興味や関心が近い人たちがわりで、一種のフィルターバブルの中にいたんだなって。

鹿島 情報や視点を得る手段は、ラジオに限らず、新聞でもテレビでもネットでもありますが、メディアで働いていると、一種のフィルターバブルになっている、というのは興味深いですね。西川さんが『秋上チキ・セッション』に出演された時にも、選挙を例に具体的にそういったお話されてましたよね。

西川 選挙については、たとえば排外主義的な思想を持つ政党の問題点を毎日のようにラジオで伝えていたのに、それが伝わっていない人が本当にたくさんいて。

鹿島 僕らの中では当たり前にならなくて、現実にはそういった政党が選挙でそれなりの票を獲得しますからね。

埋もれた情報伝えたい

——『赤坂タイムス』では、記者やジャーナリストなど現場を知る方をゲストに呼んでいきたいと放送でお話していました。

鹿島 現場の方に話を聞くというのは、僕がずっとやってきたことで、最初のきっかけは、2010年から新宿のロフトプラスワンで『プチ鹿島 居島一平の思わず聞いてしまいました!』というイベントを始めたことでした。僕は当時メディアの仕事がほとんどなかったので、だったら自分で企画して、興味のあるゲストを呼んで、直接話を聞かせてもらおうっていう。たとえば、大相撲問題で揺れている時の貴闘力さんとか。そこで現場の話を聞くことの大事さを学んだと同時に、聞き手としての自分の能力というか、個性にも気づいたんです。

西川 話し手が同じでも、聞き手によって出てくる情報は本当に変わりますよね。

鹿島 TBSラジオでいうと秋上チキさんや武田砂鉄さんはじめ、みなさん立派な見識をお持ちの話し手であると同時に、鋭い聞き手でもあるじゃないですか。でも芸人を名乗る自分としては、その人たちとは違う方向性の聞き出し方がある。そういう意味では、TBSラジオの中に『秋上チキ・Session』という本流の番組があるからこそ、傍流

80年前の戦争の記憶 生放送で伝えるラジオ

として『赤坂タイムス』では多少のゆきを出していきな。

西川 ゆきさだったたりおもしろさだったりがなく、届かないところもいっぱいありますよ。

鹿島 番組コンセプトとして「聴く新聞」というのを掲げてはいますが、ニュース・報道番組ではありませんからね。新聞と言ってもスポーツ新聞からタブロイド紙まで扱うのが『赤坂タイムス』なので。

西川 『Session』では「日刊ゲンダイ」はなかなか扱わないですよ。

鹿島 東スポもね。でもネット社会の今、タブロイド紙の強烈な見出しのほがSNSでシェアされて大衆の注目を集めるようになって、「朝日・読売毎日もがはれ」とか言う人までいる。「王道」と「下世話」が共存しているのが興味深いですが、そういうニュース番組では扱わない下世話なところまで目を光らせる視点は『赤坂タイムス』の売りになっています。俗っぽさの中に重要なことが隠れているところってありますから。

——第3回(4/18放送)のゲストだった黒猫ドラネコさんは、もともとトンデモを追いかけ

ていたんですが、いつの間にか重要な社会問題になっていたという現代の象徴的な例だと思えます。

鹿島 陰謀論を研究している覆面ライターさんね。僕もここ5年くらい選挙現場に通っているのだから、一昔前の候補者も、真剣ゆえにおかしなことを言ったり、熱なりすぎて変なことをしてしまったりはありましたけど、今のヘイトスピーチはそれとはまったく別もの。きちんと警告して注意喚起しなければいけないおかしなんです。

西川 鹿島さんも最初はウォッチャーとして選挙現場に行っていたけど、もう見ているだけではダメだから、積極的に発信もするようになったって、おっしゃっていましたよ。

鹿島 だって国会議員が真顔でメディア不要論を唱えてますからね。これは黙っていられないですよ。——それは現場の記者も同じような思いを抱えているでしょうね。

鹿島 現場の記者さんは取材したことの中の1部しか紙面には書けない。でもたった数行の裏に膨大な情報を持っている。じゃあそれを『赤坂タイムス』で話して、たさいってというのが僕のやりたいことで。伝えたいことが溢れてしょうがない

鹿島 よ言われる。若くは辞めたら終わり「売れているのは辞めなかつたやつだけ」というのと同じですね。それはひとつの正解だと思います。現に僕も37歳の時に組んでいたコンビの相方が「パイロットになりたい」と言って解散しましたけど、辞めなかったから今がある。それこそ、あの『荒川強啓・デ・キャッチー』だって、結果的に24年間続きましたが、最初の3年くらいは低調だったと立ち上げスタッフの方が言っていましたからね。

西川 どうか『赤坂タイムス』も長い目で見て、続けさせてください！



世の中のほんの一部ですよ。

西川 そうみたいです。でもそれが私の見ていた世界……小さなラジオ村だったんです。この先、ラジオの外にいる方にもラジオの魅力を届けるために、私もロフトプラスワンでイベントやったほうがいいですかね？

鹿島 外に届けることは大事ですけど、果たしてロフトプラスワンでいいのかどうか……(笑)。

——ラジオ番組として、より広がりを持たせるにはどうしたらいいと思いますか？

西川 それは私わかりません。とにかく番組を終わらせないこと。続けてさえいれば、何かしらの結果は出ますし、最低でも可能性は残っている。でも、番組が終わったらすべて終了です。

現場の人っていろいろもいるんですよ。

番組終わらせないで

西川 鹿島さんがおっしゃるように、メディアの現場にはこんなに膨大な情報があるのに、どうして多くの人はラジオや新聞ではなく、ビジネス系のネット記事ばかり読んでるんですか?! 私はその信じられません！

——人は自分の知りたい情報しか知ることができない、とも言われますからね……。

鹿島 それとも通じる話で言うところ、僕は何十紙と新聞の読み比べをしていて、ニュースや情報に当たる時には常に平信半疑していることを心掛けていますけど、いざ自分が知らない分野になると途端に怪しくなる。報道ならこの発言はどんな文脈で誰が言っているのか、というところを考えが及ぶのに、たまたまYouTubeでや、買ってはいけない「みたいな動画が流れてくるや、じつは考えず」「そんなんで納得しちゃう。そういう意味で、日常的に政治や選挙に関心を持っていない人たちは、選挙の期間だけ情報を得ようとするから、パッとSNSで流れてくる真偽不明の言説でも信じてし



笑うようになった。一体どういってた、と思っ

いた。ニッポン放送「高田文夫のラジオバニー屋」が始まっていて、みんな番組冒頭の時事ネタトークを聴いて来ていたんですよ。こっちはけなしの金を使って大阪から夜行バスで来ているのに、東京の人はラジオでタダで高田文夫の時事ネタトークを聴けるのか。それが悔しくてね。大学卒業後に上京してからは、1日の中でやるのが『ビバリー』を聴くだけという日々を何年か過ごしました。

西川 1日やるのがラジオを聴くだけって、いうのもすご……。

鹿島 大げさじゃなく、本音だったんです。夢中とかそういうのも通り越して、生きることがラジオを聴くことだった。

西川 私が最初に夢中になったラジオは、文化放送の『Berryz工房 起立！礼！着席！』という番組ですね。ハロー！プロジェクトが大好きだったので、メンバーが企画コーナーをやったり裏話を聞けたりするのがうれしかった。

鹿島 健全でいいじゃないですか。

西川 最近、鹿島さんがラジオを聴いていて印象に残ったことってありますか？

鹿島 僕がここ最近で印象に残っているのは、2005年に戦後80年ということで、いろんな番組で特集が組まれたりしてましたよね。その中で『森本毅郎・スタンバイ』では、東京大空襲について取り上げていて。その放送中に、毅郎さんが遠藤泰子さんに「遠藤さんは空襲の日、何をしましたか？」って聞いたんです。それなんだって。



まつ。そこはメディア、とくにテレビの報道のやり方にも責任の一端はあると思いますけど。ファクトチェックまでしっかり報道するとか、時代に合わせて報道のやり方は変えないといけないですよ。

西川 文化放送を辞めて、私がラジオの生放送から離れていた期間の選挙って、ショッキングな動きがある選挙ばかりだったんですよ。

鹿島 2024年から2026年はたしかに激動の選挙が続きましたね。都知事選とか参院選とか。

西川 さっきのフィルターバブルの話に戻りますけど、私はそれまでラジオ局でしか働いたことがなかったんで、ラジオの外にある広い世間を知った時のショックが本当に大きかったです。そして、ラジオから発信するだけでは、ラジオを聴く人しか届かないことも痛感したので、もちろんラジオは続けながらも、もっと違うところにいる大勢の人にも、大切なことを伝えたいと思うようになりました。

鹿島 ラジオ局を辞めたことで広い世間を知れたというのは、いい機会だったと思いますよ。

——あの、失礼は承知のうえで……西川さんは本当に世間の人たちはみんなラジオを聴いていると思っていたんですか？

西川 思っていましたよ！ だってラジオ局にはラジオが好きで人しかいなかったですよ。それに、番組宛にはたくさんメールも届くし、Xで生放送の実況とかを見ていると、いろんなリスナーさんが意見や感想をつぶやいてるし……。

鹿島 西川さん、ラジオを生放送で聴いて、番組にメールを送ったり、Xで実況までしている人は、

2025年に東京大空襲を経験した二人の生の声が聞けるなんて、本当に貴重なコンテンツだと思いますね。さっき西川さんが言った続けてさえいければ、この例ですよ。

西川 ついこの間も、遠藤さんはニュース原稿の中に「国家や監視」といった言葉が多くなったというお話をされていました。

鹿島 それも何十年とニュースを読み続けてきた方だからこその出る感想ですよ。

西川 私の勝手な印象かもしれないですけど、だんだんとラジオのニュース番組が軟化してきているような気がします。本当に有益な情報や大切なことを、責任を持って伝える番組が増えてほしい、私もそれを目指したい。

鹿島 大事なことをおっしゃいますよ。今はポッドキャストやYouTubeといったメディアが増えて、誰でも発信できる状況になったからこそ、ラジオで放送するからには心地よい責任感を持って届けたいですね。

東京ポッド許可局



マキタスポーツ・プチ鹿島・サンキュータツオという3人の芸人が、深夜にゆるいおしゃべりをする番組『東京ポッド許可局』。芸人でありながら、マキタさんは俳優にデビュー、鹿島さんは文筆業に映画監督、タツオさんは大学の准教授と、それぞれ独自の活動をしています。今回『プチ鹿島 赤坂タイムス』の開始を記念して、3人が語っているのは「許可局振り返り論」。どうやら、そのゆるさにもこだわりがあるようで……。一体どんな話が飛び出すのやら。ちよつとのぞいてみましょう。

サンキュータツオ

プチ鹿島

マキタスポーツ

東京ポッド許可局
毎週④
25:00～26:00 放送
出演：マキタスポーツ、プチ鹿島、サンキュータツオ
3人の芸人がひっそり始めた自主制作のポッドキャスト番組をTBSラジオが異例の輸入。モットーは「屁理屈をエンタテインメントに！」。

タツオ 改めて振り返っておくと、我々

『東京ポッド許可局』は2008年に自主制作のポッドキャストとして始まりまして。当時は3人とも売れてなかったですけど、2010年には書籍化、2011年には日比谷公会堂で番組イベント、そして2013年からTBSラジオの番組になりました。

マキタ 5年でメジャーと契約したね。

鹿島 売れてない芸人のインディーズ番組にしては最初から調子よかったよね。



鹿島 映画化してもいいくらいだね。

タツオ それは早いな。まだ始まって3ヶ月でしょ。

マキタ でも正直、おれはPK(プチ鹿島)が昼だろうがワイドだろうが、旬のニュースを扱うような番組をやる未来がとくに見えてたけどね。

タツオ 鹿島さんには硬軟の二面性があつて、軟のほうは『許可局』で存分に発揮しているの、次は硬のほう、芸人でありながらジャーナリズム精神を持っているパーソナリティとしての側面を『赤坂タイムス』をきっかけに知ってもらいたいですね。

鹿島 ぜひ知ってください。

タツオ でもほんとにさ、時事ネタや政治ネタを扱う芸人って、どうしても反体制的になったり、右か左に偏ったりして、ラベリング勝負になりがちなのよ。でも鹿島さんはそういったポジショントークにもならず、距離感をとる名人だから、今みたいな仕事ができるんだと思いますよ。

マキタ そもそもおれたち3人とも、芸人道という王道があるとしたら、そうではないオルタナティブな存在だったわけじゃない。今は時代が変わってニッチなことやる芸人も増えて、細分化と多様化が進んできたけど、ずっと前から「時事芸人」を背負ってきたPKはやっぱ特殊だよ。芸人がやるコメ

タツオ 雑談するポッドキャストの先駆けでもありましたけど、当時はお二人ともポッドキャストが何なのかよくわかってなかった。

マキタ いまやTBSラジオには芸人のラジオもポッドキャストもいっぱいあるじゃん。で、収録に来るとスタジオの廊下で芸人とすれ違ったりするんだけど、完全に素通りされるね。

鹿島 我々は芸能界の地図には載ってません。

タツオ パラエティにも出てないし、賞

鹿島さんは大学の卒論テーマが久米宏。それが50代で同じ枠の冠番組をやるなんて。

ンテーターとも一線を画してるし。

タツオ だって鹿島さん、大学の卒論テーマが久米宏なんですよ。それが今、50代になって久米さんがやってた枠で冠番組を持つって、こんなドラマチックな話ないですよ。

鹿島 『赤坂タイムス』は、かつての『久米宏ラジオなんですけど』と同じ枠でやらせていただけてます。

タツオ 文脈を噛み締めながら聴くと、より『赤坂タイムス』が楽しめますね。

鹿島 タツオだって、出会った頃は大学生だったのに、その後は大学院に行って、今は大学の先生になっちゃったわけでしょ。

タツオ 東北芸術工科大学で芸術学部の准教授をやらせていただいております。

マキタ ほかの芸人がやらないことを突き詰めていった結果だよ。これはよく言ってることだけど、おれたちは芸人でありながら、平成におもしろさを置いてきたの。『許可局』はよく「ゆるい」って言われるけど、手を抜いてるとかって方向のゆるさは全然違う。命がけのゆるさだから。

タツオ ダラダラ昭和の話をしてるわけじゃないんだ。

鹿島 でもさ、平成になったのって1989年でしょ。ポケでもなんでもなく、つ

東京ドームができたの最近だよ。マイク・タイソン来たの衝撃だった。

レースに参加したりもしてないのね。

マキタ タツオは大学にしか行っていないからしょうがないとしてもさ。

タツオ 大学にしか行ってことはないでしょ！ 寄席にもちゃんと出てますよ。

鹿島 タツオは米粒写経というコンビで漫才もしています。

タツオ 落語協会にも所属してます。

鹿島 そして、マキタさんはもう立派な俳優です。

タツオ そんな3人でやっておりますが、4月からなんと、鹿島さんが土曜お昼に冠番組を始めました。

次の年だもん。

タツオ もう37年前ですけどね。

鹿島 東京ドームだって最近できたばかりだと思ってる。マイク・タイソン来たの衝撃だった。

マキタ ソウルオリンピックと同じ年だよ。ベン・ジョンソンが金メダル。

タツオ 昭和の話になるとやたら饒舌になりますね。

マキタ なんか若者の間で昭和レトロ風とか流行ってるらしいけど、我々は風じゃない、本物だから。リノベーションされた古民家カフェとは違うんだよ。一切の手を加えていないむき出しの古民家。

タツオ 入りづらいな。

鹿島 でもこういう雑談ができる関係性って貴重だよ。タイガー・ジェット・シンを見つけたアントニオ猪木みたいにさ、いくらでも興行できる。

タツオ また昭和の例え。でも真面目な話、「こいつらとはずっとしゃべってられるな」っていう人に出会えるかどうか、すごく大事だと思う。

マキタ だから話す内容がいいんだよ。



鹿島 ありがとうございます。タツオにもこの前ゲストに来ていただきまして。初めて昼の生放送なんという公的な場所と一緒に仕事したから、お互い緊張しちゃって。タツオ 鹿島さんが輝いて見えましたよ。改めて番組名、言っておきましょう。

鹿島 『プチ鹿島 赤坂タイムス』です。西川あやのさんと二人でやっています。タツオ 西川さんも許可局員(許可局リスナー)ですからね。

鹿島 なにせ『赤坂タイムス』は裏番組がサンドウィッチマンですから。ちなみに『許可局』の裏はオーダーリーね。

タツオ 好感度ナンバー1のM-1王者と、東京ドームでイベントする人気ナンバー1の番組の裏でよくがんばってますよ。テレビだったらあり得ない。

鹿島 でもあり得ちゃうのがラジオのいいところ。

タツオ 制作費を番組イベントで稼いでいうのも『許可局』が先駆けと言っているように。

マキタ そういふの、どんどん言っている。

タツオ 一時期TBSラジオはポッドキャストから完全に撤退しましたが、その時でも『許可局』だけは続けさせてくれた。そこは大いに感謝してますし、そういった歴史のうえに『赤坂タイムス』もあるんですよ。



人気でやってきたわけじゃない。

鹿島 『許可局』がこんなに続いたのは、まさにそれだよ。しゃべってる内容がよかった。

タツオ 我々ずっと言ってますけど、ラジオは「誰がしゃべるか」ではなく、「何をしゃべるか」だって。

鹿島 2028年には20周年だよ。

タツオ だからと言って、とくに展望もないですよ。

マキタ でもさすがに20周年となったら、リスナーのために何かやりたいな。

タツオ 長年連れ添ってきたリスナーがたくさんいますからね。

マキタ だってこんな番組をずっと愛してくれるなんて、明らかに少数派でしょ。感謝を伝えたいよ。

鹿島 照れずにそういうのやるのもいいよ。



アンジェリーナ1/3 Angie Radio!! ～夢は口に出せば叶う!～

バンド「Gacharic Spin」のマイクパフォーマー・アンジェリーナ1/3（愛称アンジー）がパーソナリティを務める『Angie Radio!! ～夢は口に出せば叶う!～』は、2022年に2回の特番が放送され、その後、夜や早朝の時間帯を経て、2025年4月より日曜お昼の生放送番組となった。そしてこのたび、アンジーが第63回ギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティ賞を受賞。ついに「令和のラジオスター」の夢が叶った!

何がなんでも、ラジオを
続けていかなきゃいけない。

——ギャラクシー賞受賞、おめでとーございます。

ありがとうございます! ラジオと向き合うようになってから、ずっと目指していた賞だったので、もうこの先これ以上ないというか……。ただ、私の場合はちょっと特殊で、何十年とラジオを続けてきた結果ではなく、「これからのラジオをよろしく」という前金のような受賞だと思っています。なので、何がなんでも続けていかなきゃいけないりました笑。でも本当に、未来へラジオを繋いでいきたいと思っていますし、私を信じてくれたみなさんに、これまでの感謝を伝えられる最高の機会になりました。そして、TBSラジオプレスの表紙になる夢も叶いました。

——受賞のプレッシャーはありませんか? おそろしいことに、まったく感じてないんです(笑)。何の期待も感じずに、やりたいことをやっていた先にいただけの賞なので、これからもやりたいことをやり続けるのが自分の正解なのかなと思っています。たまにリスナーとケンカしたりもするんですよ。「アンジーのラジオは変わった」とか言われて。でも「人は変わら

ないことなんてないんだよ!」って言い返します。そういうことはこれからもラジオで言い続けていきますし、どんなふうにも変わってもいいと思っているので、プレッシャーはないんですよ。

——初めてアンジーさんがTBSラジオに出たのは、2022年4月8日放送『問わず語りの神田伯山』での代打パーソナリティでした。

運命が変わった日ですね。『問わず語り』がラジオへの向き合い方を変えてくれました。自分が納得いくまでしゃべりを追求する、そのためには何度録り直してもいい、ということをお教えたもらった番組です。その『問わず語り』のスタッフさんたちが、『Angie Radio!!』も担当してくださっているの、とても心強いです。

——改めて、神田伯山さんの代打を務めることになった経緯を教えてください。

ラジオ日本で『アンジェネレーションラジオ』という番組をやらせてもらっていた時に、リスナーさんからのメールで伯山さんの講話をすめてもらったんです。それで「中村仲蔵」という演目を観たら、ものすごい衝撃を受けて。さっそく番組

で講談や伯山さんについて熱く語ったところ、

SNSでそのことを知った

伯山さんが『問わず語り』で話題にしてくれたんです。そこからラジオを通じた交流が始まり、伯山さんが新型コロナウイルス感染でお休みすることになった時に、代打をやってほしいと。

——いきなりの大役ですね。

でもあの時は、ことの重大さよりも「伯山さんがSOSを出しているからやらなきゃ!」という気持ちだけで、すぐに「やります!」と返事をしたんです。収録後に「あれ、今けっこうすごいことになってる?」って気づきました(笑)。

——その代打を務めた放送の第一声は「おまえ誰——!?」でした。

スタッフさんが事前にいろんな前口上のパターンを考えてくれていたのですが、ひとつだけ「私が考えてきたのがあるのでやってみてもいいですか」と言ったら、内容も聞かずに「じゃあ録ってみよう」と言ってくださって。それがそのまま放送されました。

——放送後の反響も大きかったですよね。

正直、放送の前はマイナスの意見も多かったんです。「爆笑問題の太田(光)さんにやってもらえばよかったの!」とか「落語芸術協会の後輩とかいただろう!」みたいな。でも「おまえ誰——!?」の第一声で、ぐるんと変わりました。8割くらいマイナスだったのが、一気に8割プラスに。そこから私のことをおもしろがってくれるリスナーさんが一気に増えた気がしますね。

——そのうちに、さまざまなメディアで「令和のラジオスター」と紹介されるようになりました。

それも『問わず語り』の代打がきっかけなんです。放送を聴いた爆笑問題の太田さんが「次世代のラジオスターになる子だ」と言ってくださって。せっかく太



Angie Radio!!
～夢は口に出せば叶う!～

毎週@
12:00～12:55

出演: アンジェリーナ1/3

Gacharic Spinのアンジェリーナ1/3が日曜のお昼をプチ上げる↑ロックでピンクな55分! アンジーラジオはあなたのラジオです!

観覧無料

ナビゲーター・TBSアナウンサー
中谷恒幹 (なかたしつとむ)



みなさんの人生に寄り添い、多様なキャリアを応援する
マイナビがお送りするイベント・オンエア・YouTubeを使った
リスナー投票型の「芸人発掘」ラジオ!



毎週 **金曜** 深夜 **24:00~25:00 OA!**

WHAT'S

マイナビラフターナイトとは…
毎月およそ30組の若手芸人によるオンエア争奪ライブを実施!ジャンルは漫才、コントなんでもアリ! **観覧無料!**

POINT

- 1 TBSラジオとラジコで聴ける
- 2 OAされた内容がYouTubeでも聴ける
- 3 月間チャンピオンのオリジナルネタ動画もYouTubeで公開!

詳しい内容は番組HPをチェック!

マイナビラフターナイト 検索 メール▶ warai954@tbs.co.jp

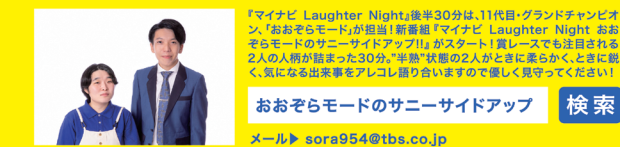


TBSラジオ
FM90.5 + AM95.4

TIME TABLE

24:00~24:30	ON AIR LIVE
AUDITION オンエア争奪ライブ (公開収録) 限られたオンエア枠をかけて、若手芸人が観客の前でネタを披露!	
ON AIR オンエア 毎月開催「オンエア争奪ライブ」の中から、観客投票上位の芸人をオンエア。	
CHOICE YOUR BEST リスナー投票 YouTubeの再生回数・リスナー投票数・番組審査員による採点を総合して「月間チャンピオン」を決定。	
CHAMPION LIVE チャンピオン制度 1年に1度、月間チャンピオンが集結する「チャンピオンLIVE」を開催。 優勝者には、TBSラジオ冠特権の権利を贈呈。 *優勝者発表後 第1回(2023年10月)・第2回(2023年11月)・第3回(2023年12月)・第4回(2024年1月)・第5回(2024年2月)・第6回(2024年3月)・第7回(2024年4月)・第8回(2024年5月)・第9回(2024年6月)・第10回(2024年7月)・第11回(2024年8月)・第12回(2024年9月)・第13回(2024年10月)・第14回(2024年11月)・第15回(2024年12月)・第16回(2025年1月)・第17回(2025年2月)・第18回(2025年3月)・第19回(2025年4月)・第20回(2025年5月)・第21回(2025年6月)・第22回(2025年7月)・第23回(2025年8月)・第24回(2025年9月)・第25回(2025年10月)・第26回(2025年11月)・第27回(2025年12月)・第28回(2026年1月)・第29回(2026年2月)・第30回(2026年3月)	

24:30~25:00 マイナビ Laughter Night おおぞらモードのサニーサイドアップ!!



『マイナビ Laughter Night』後半30分は、11代目・グランドチャンピオン、
「おおぞらモード」が担当! 新番組「マイナビ Laughter Night おおぞらモードのサニーサイドアップ!!」がスタート! 賞レースでも注目される
2人の人柄が詰まった30分、「半熟」状態の2人がときに素直に、ときに鋭く、
気になる出来事をアレコレ語り合いますので楽しく見守ってください!

おおぞらモードのサニーサイドアップ 検索
メール▶ sora954@tbs.co.jp

未来が見える世界をつくる。
マイナビ



ギャラクシー賞受賞後、初のイベントなのに、チケットがなかなか売れなかつた(涙)。でもそれも番組でネタにしたり、チケットも手売りして、結果ちゃんと売りました。イベントもめちゃくちゃ楽しかったし、すごい気持ちよかったです。
ダサくても成り立つ、情けないところを見せられるのも自分の強みだと思うので、これからそこは大事にしていきたいですね。
——人しやべりはどのように身につけていったのですか?
収録だった頃はずっとラジオノートを

つけていました。編集前と後の音源を聞き比べて、カットされているところを全部メモしたり、自分の接続詞のクセや間の取り方を分析したり、ここでエピソードトークが出てこなかったから次はこうしようとか、箇条書きにして。あとは、いろんな人の番組を聴いて、パーソナリティごとのしやべり方も研究しました。だいたいぶ気持ち悪いノートなんですけど(笑)。
——日曜お昼の生放送という枠については、どういう意識を持っていますか?
前が『安住紳一郎の日曜天国』で、後ろが『爆笑問題の日曜サンデー』という、ものすごい番組に挟まれているので、最初の何ヶ月かは流れを崩さないように、「美しいラジオをやるう」と、私なりにがんばっていたんです。でもそれがまったく肌に合わなくて。おもしろいことも言えない、ストレスも溜まる。それである時「自分が一番ラジオを楽しんでいた時の感じでやってみよう」ってやってみたら、結局そのほうがはじめてもらえたんです。お昼の生放送に自分を合わせるのではなく、私のしやべりにリスナーさんが合わせてくれればいんだって気づきました。意外と自分勝手に大丈夫かもって(笑)。
——リスナーはパーソナリティのことを

見透かすと言いますからね。
やっぱり取り繕っている時の放送は、楽しんでくれる人も少なかったと思います。でも私がだんだん家族の話や親が亡くなったこと、不登校やいじめにあった話もするようになって、ようやく私という人間が伝わるようになりました。これまであまり人に話したくないと思っていたネガティブな部分も、リスナーさんがおもしろがって聴いてくれるなら、当時の自分も報われるなって。ラジオのおかげで自分の人生を肯定できるようになったんです。それに、TBSラジオのリスナーは東京出身者に優しいから、私が「深川の出身なんです」って言うと言ってくれるたり。『えんがわ』の玉さん(玉袋筋太郎)と外山(恵理)さんにも「下町の江戸っ子トークはいっぱいやりなさい」と言われたので、そういう自分のパーソナルな部分とか、今の自分を作り上げてくれたものは大事にしたいと思うようになりました。なので、今後の目標としては、毒舌三太夫さんのように90歳になってもTBSラジオに出続けること。その時は「昔、新型コロナウィルスというのが流行った時代があつてね、休む人が続出して、私は代打で有名になったんだよ」って伝えたいですね。

——5月24日には、有楽町朝日ホールで番組イベント「STAND-UP RADIO2」が開催されました。
ギャラクシー賞受賞後、初のイベントなのに、チケットがなかなか売れなかつた(涙)。でもそれも番組でネタにしたり、チケットも手売りして、結果ちゃんと売りました。イベントもめちゃくちゃ楽しかったし、すごい気持ちよかったです。
ダサくても成り立つ、情けないところを見せられるのも自分の強みだと思うので、これからそこは大事にしていきたいですね。
——人しやべりはどのように身につけていったのですか?
収録だった頃はずっとラジオノートを

つけていました。編集前と後の音源を聞き比べて、カットされているところを全部メモしたり、自分の接続詞のクセや間の取り方を分析したり、ここでエピソードトークが出てこなかったから次はこうしようとか、箇条書きにして。あとは、いろんな人の番組を聴いて、パーソナリティごとのしやべり方も研究しました。だいたいぶ気持ち悪いノートなんですけど(笑)。
——日曜お昼の生放送という枠については、どういう意識を持っていますか?
前が『安住紳一郎の日曜天国』で、後ろが『爆笑問題の日曜サンデー』という、ものすごい番組に挟まれているので、最初の何ヶ月かは流れを崩さないように、「美しいラジオをやるう」と、私なりにがんばっていたんです。でもそれがまったく肌に合わなくて。おもしろいことも言えない、ストレスも溜まる。それである時「自分が一番ラジオを楽しんでいた時の感じでやってみよう」ってやってみたら、結局そのほうがはじめてもらえたんです。お昼の生放送に自分を合わせるのではなく、私のしやべりにリスナーさんが合わせてくれればいんだって気づきました。意外と自分勝手に大丈夫かもって(笑)。
——リスナーはパーソナリティのことを

見透かすと言いますからね。
やっぱり取り繕っている時の放送は、楽しんでくれる人も少なかったと思います。でも私がだんだん家族の話や親が亡くなったこと、不登校やいじめにあった話もするようになって、ようやく私という人間が伝わるようになりました。これまであまり人に話したくないと思っていたネガティブな部分も、リスナーさんがおもしろがって聴いてくれるなら、当時の自分も報われるなって。ラジオのおかげで自分の人生を肯定できるようになったんです。それに、TBSラジオのリスナーは東京出身者に優しいから、私が「深川の出身なんです」って言うと言ってくれるたり。『えんがわ』の玉さん(玉袋筋太郎)と外山(恵理)さんにも「下町の江戸っ子トークはいっぱいやりなさい」と言われたので、そういう自分のパーソナルな部分とか、今の自分を作り上げてくれたものは大事にしたいと思うようになりました。なので、今後の目標としては、毒舌三太夫さんのように90歳になってもTBSラジオに出続けること。その時は「昔、新型コロナウィルスというのが流行った時代があつてね、休む人が続出して、私は代打で有名になったんだよ」って伝えたいですね。

しやべりを研究したラジオノート



——イベントでは、あえてゲストも呼ばず、間に歌も入れながら、一人でしやべり続けました。
私は人見知りなところもあるので、もともと一人で集中して何かをやるほうが好きなんです。もちろん、ラジオには裏で支えてくださる方がたくさんいるんですけど、最後はその思いを一人で背負って「行ってくるぜ!」というのが自分には合っているのかな。とくに生放送になってからは、ずっと一人でしやべり続けることができるのは自分の強みだと改めて思いました。それに、今回チケットが売れてないことをネタにできたのも、自分一人だったからできたこと。もしゲストの方がいたら、放送であんなに「売れてません!」って言えなかつた(笑)。
——人しやべりはどのように身につけていったのですか?
収録だった頃はずっとラジオノートを

TBS Podcast

Spotify・Apple Podcast・amazon music・YouTube Musicなど
各種Podcastサービスでお楽しみ頂けます。



大久保佳代子とらぶぶらLOVE
大久保佳代子 **毎週 土 17:00 配信**
佳代子の恋バナ配信中♡ 人の恋バナを聞いてホルモンバランスを整える健康番組。マッチングアプリ、ヒモ男、倦怠期、遊び遊ばれ……みんなで恋愛筋肉つけてこー！



カメとキリギリス
平成フランゴ・RIHO こっちのけんと **毎週 金 18:00 配信**
のんびりしているカメも、気ままなキリギリスも、どちらもマイペースで、自分を貫いています。そんなスタンスで、近況や最近考えたことをおしゃべりします。



コムギコ:資本主義をハックしろ!!
コムギ **週1回更新**
毎日、ニュース100本を読むビジネス系VTuber・リサーチャー・編集者のコムギが、日々の出来事に鋭く「なんでやねん！」とツッコミを入れる番組です。



我々は安心してリアリティーショーが観たい
竹中夏海 レイチェル **毎週 金 20:00 配信**
リアリティーショーは生身の人間を扱うコンテンツ。「誰と誰がくっついた！」「あの練習生に投票した！」じゃない視点でそろそろこのエンタメを語りませんか？



ロッチナイトZERO
ロッチ **毎週 金 21:00 配信**
ロッチのふたりはネタ合わせの時間を「ロッチナイト」と呼んでいます。この番組は、その手前、ロッチがゼロから築く時間であり、リスナーとゼロから創るPodcastです。



ペーパードライブ【読書・哲学】
永井玲衣 西川あやの 大島育宙 **毎週 土 13:00 配信**
運転免許を持ってなかった平成初期生まれの3人が、ペーパードライバーのように、慎重に、ぐるぐると、丁寧に、小説、歌謡、漫画、短歌、映像などについて語り合います。



週刊ワシントン
櫻元照幸 涌井文晶 **毎週 土 AM 配信**
TBSワシントン支局の特派員が定点観測しているワシントンの政治・経済ニュースを中心に、アメリカの話題や空気を詳しく解説。ニュースがより詳しくわかる・楽しめる！



コサキン ポッドキャストDEファオ!
小堺一機 関根勲 **毎週 金 18:00 配信**
伝説の番組「コサキンDEファオ！」がPodcastで復活！「コサキン」コンビが、意味ねえへ、ヒデェへ、くだらねえへを誉め言葉にトークを繰り広げます。



松丸友紀 ボイスサンプル
松丸友紀 **毎週 金 18:00 配信**
アナウンスの仕事をするうえでPRに必要な資料「ボイスサンプル」。それをそのままコンテンツ化。これを聞けば松丸友紀が全てわかる資料的音声コンテンツ。



金魚番長のデメキング
金魚番長 **毎週 金 21:00 配信**
ネタのおもしろさはお墨付きの若手漫才コンビが2人でしゃべり倒しますので、Podcastに引越しても、まだまだどうかどうか温かく見守ってください。



木村昴のケバブ箸で食う
木村昴 **毎週 金 20:00 配信**
「ケバブ」を「箸」で食うという異文化混合の精神で、木村昴が常識や形にとらわれない自由で楽しい番組をお届け！ 略称は「バブ箸」。



ジェーン・スーと堀井美香の「OVER THE SUN」
ジェーン・スー 堀井美香 **毎週 金 17:00 配信**
リスナーのみなさんとともに語らいながら、「太陽の向こう側」を目指していきます。あなたも私も、どうぞご愛ください。



pecoとJESSICA
peco JESSICA **毎週 金 19:00 配信**
タレントのpeco、そして4人組TikToker・YouTuber「午前0時のプリンセス」としても活動中のダンサーJESSICA。ともに30歳。彼女たちの等身大の話。



人生後半どうする会議だ!
青木さやか ビビる大木 **毎週 金 07:00 配信**
50歳を超えたふたりが、人生折り返しと感じ始めた今、これからどのように生きていくか会議をする番組。リスナーの皆さんも相談・意見・悩みなど送ってください。



となりのパパはどうしてる?
アルコ&ピース・酒井健太 小池徹平 **毎週 金 18:00 配信**
「朝からイヤイヤで遅刻ギリギリ」「週末は公園で全力勝負」。パパの毎日は、笑いと思いとドタバタの連続です。そんなリアルな日常を、パパ同士で語り合います。



永野はミスターTBS
永野 **毎週 金 18:00 配信**
孤高のピン芸人・永野が勝手にTBSの看板を背負うことになりました。とはいえテレビでもなければラジオでもない、ひっそりとPodcastでやっています。



真空ジェシカのラジオ父ちゃん
真空ジェシカ **毎週 土 19:00 配信**
ラジオを父親のように慕っていた真空ジェシカが、再びラジオにかわいがってもらえるように……そんな気持ちでお送りします。



バレーボール・プラス
不定期
あなたの毎日に、バレーボールの熱狂と楽しさを“プラス”！中継だけでは伝えきれない奥深い魅力を、他では聞けない“プラス”の視点でお届けします！



北京発!中国取材の現場から
立山芽以子 室谷陽太 松尾一志 柳崎仁 **毎週 土 06:00 配信**
最前線で取材するJNN北京支局の特派員が「中国が」とひとくくりにするのではなく「リアル」をお届け。中国で暮らしながら取材しているからこそ感じる「中国のいま」。



大吉ポッドキャスト いったん、ここにいます!
博多大吉 **毎週 土 17:00 配信**
「たまむすび」水曜パートナーを11年務めた博多大吉が担当。ゲストは大吉所縁の人からラジオで働くスタッフまで！ 幅広くおしゃべりしています。



となりの雑談
桜林直子 ジェーン・スー **毎週 金 20:00 配信**
テーマは特にありません。「喫茶店でたまたま隣に座った人たちの話が耳に入ってきたなあ」くらいの感じで、サクちゃん、スーさんの話を聞いてみてください。



セイジウラク
澤田大樹 宮原ジェフリー **毎週 土 17:00 配信**
必ずしもタメになるわけではないけどおもしろい、趣味・道楽としての政治（あるいは世事）を、取材・リサーチの成果を織り交ぜて、マニア的な視点で語ります。



カラタチの最果てのセンセイ!
カラタチ **毎週 土 21:00 配信**
アイドルオタク（右・前田）と、エロゲ……もといPCゲームオタク（左・大山）が、互いに推しへの愛を語り尽くす（時に罵り合う）オタクキュレーションバラエティ。

TBSラジオからのお知らせ

5月の推薦曲



しあわせのまわり道

歌心りえ

誰の記憶にもある風景の“特別じゃない毎日こそが愛の正体”であり、幸福は“手に入れるもの”ではなく、“探し続けている状態＝まわり道”であるという、長年連れ添っているカップルへのメッセージソングです。



1973年生まれ。2024年日韓のオーディション番組で準優勝し、韓国で大ブレイク。2025年メジャーデビュー。

6月の推薦曲



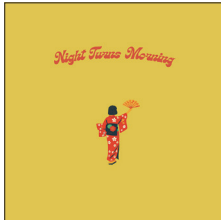
METRO SUKEROQUE

暗い先の見えないトンネルを、敷かれたレールの上を進むような時代の中でもがきながら生きていく私達自身を皮肉りながら軽快でファンキーな横揺れに乗せて“METRO”をお届けします(セルフライナーノーツより)。



作詞作曲編曲を手掛け、スモーキーで甘い歌声のSHOHEIによるソロプロジェクト。LIVEパフォーマンスも光る。

7月の推薦曲



Night Turns Morning

magora

magoraが人生を通じて敬愛するR&Bをルーツにし、今作ではきらびやかで躍動感あふれるディスコ調へとアプローチ。ラグジュアリーなビルボードの客席で、体を揺らしながら聴きたくするアッパーチューンに仕上がっている。



日英仏トリリンガルのSSW。大人気YouTube「Kevin's English Room」の「やま」としても活動。

本誌・ウェブ・番組——3つのTBSラジオプレス

TBSラジオプレスのウェブでは、本誌には載せきれなかった写真やインタビューをはじめ、ウェブ版オリジナルの記事も配信しています。さらに、本誌と連動した番組『TBSラジオプレス』も毎週木曜日16:50から放送中。本誌・ウェブ・番組と3つの媒体が連動

してTBSラジオの情報を発信しています。感想や要望などがございましたら、こちらのアドレスまでメールをお送りください。
✉press@tbs.co.jp

TBSラジオfam募集中

TBSラジオの情報や番組表、出演者のインタビューやコラムを掲載する本誌「TBSラジオプレス」を置いていただけるお店や会社などの、施設を募集しています。配布場所となっていたいただいた施設は「TBSラジオfam」として登録され、毎月ご指定の住所にお届けいたします。

応募条件や応募方法につきましては、公式サイトをご確認のうえ、お申し込みください。最小部数は50部。3ヶ月ごとの発行となります。送料はこちらで負担いたします。

点字・拡大文字・音声コード番組表

TBSラジオでは、視覚障害のある方、弱視の方にご利用いただける「点字・拡大文字・音声コード番組表」を用意しております。ご希望の方は、郵送先を明記のうえ、メールもしくはハガキにて、お申し込みください。

メール：radio@tbs.co.jp
ハガキ：〒107-8066 TBSラジオ
「点字・拡大文字・音声コード番組表」係まで
※送料はかかりません。
※数に限りがございますので、品切れの際はご了承ください。

TBSラジオプレス 2026年7・8・9月号

発行／TBSラジオ
編集長／おぐりゆうじ
編集／加藤 基（リトルモア）
デザイン／山崎健太郎（NO DESIGN）、中野 潤（NO DESIGN）、飯村大樹
撮影／沼田 学（アンジェリーナ1/3）、南 阿沙美（プチ鹿島・西川あやの）、石垣星児（マキタスポーツ・プチ鹿島・サンキュータツオ）
取材・文／森野広明（アンジェリーナ1/3）
印刷・製本／シナバプリッシングプレス
編集協力／リトルモア

TBSラジオ
〒107-8066 東京都港区赤坂5-3-6
TEL：03-3583-6000
本誌記事の無断転載を禁じます。
©TBS RADIO

2026.7~ TBSラジオ TIMETABLE

	月	火	水	木	金	交通 情報
05:00	大島由香里／純烈・酒井一圭 BRAND-NEW MORNING 月～金 大島由香里 金 酒井一圭					
06:30	森本毅郎・スタンバイ! 森本毅郎・遠藤泰子					
08:00	パンサー向井の#ふらっと 向井慧 ※木曜は隔週出演					
09:00	ジェーン・スー 生活は踊る ジェーン・スー					
10:00	こねくと 石山蓮華					
11:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
12:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
13:00	アサヒ芸能 大島由香里					
14:00	こねくと 石山蓮華					
15:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
16:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
17:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
18:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
19:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
20:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
21:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
22:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
23:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
24:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
01:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
02:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					
03:00	荻上チキ・Session 荻上チキ					
04:00	アフター6ジャンクション2 宇多丸 ※第4月曜日から始まる週の水・火・水は月替わりパートナーで、木は宇多丸のみ					

2026年7月1日時点での番組表です。番組出演者、放送時間等は変更になる場合がございます。金=金曜の交通情報の放送時間 ㊟=新番組

FM90.5MHz+AM954kHz radiko へアクセス!

	土	交通 情報
05:00	ニュース・天気予報 ラジオやで☆モナキやねん☆しらんけど エンタメSaturday 佐々木舞音 新浜レオン 今日も元気にがんばれオン。	
06:00	土曜朝6時 木梨の会。 木梨憲武・山形純菜・吉村恵理子・佐々木舞音	06:50
07:00	まとめて!土曜日 藤森祥平・北村まあさ	07:24 07:57 08:19 08:51
08:00		
09:00	土曜ワイドラジオTOKYO ナイツのちゃきちゃき大放送 ナイツ・出水麻衣・外山恵理(中継)	09:23 09:54 10:23 10:55 11:25 11:55 12:21
10:00		
11:00		
12:00	中野浩一のフリートーク 中野浩一・南後吉子	
13:00	プチ鹿島 赤坂タイムス プチ鹿島・西川あやの	13:31 13:50 14:32
14:00		
15:00	テリィ伊藤 昭和モータース天国 東京042～多摩もりあげ宣言～ 土屋礼央・林家つる子 ウィークエンドネットワーク	
16:00	…&シノ! from timelesz 篠塚大輝 工具大好き 高野倉匠人・川瀬良子	
17:00	room no.1007 中村あゆみ・hitomi・土屋アンナ GARAGE HERO's ～愛車のこだわり～ 安東弘樹	
18:00	杉本琢弥のVAVAVA 田中みな実 あったかタイム	
19:00	丹生明里 HAPPY CARAVAN サステバ 小泉今日子・大石英司・上村彩子	
20:00	ワタシのごほうび時間 藤本美貴 こちらQuizKnock放送部 QuizKnock・ねお	
21:00	藤田ニコルのニコニチ 渋谷風咲と雨やどりラジオ	
22:00	TALK ABOUT KAIRYU 22:30ごろ 榎坂TALK ABOUT	
23:00	藤原竜也のラジオ	
24:00	俺達には土曜日しかない 綾小路 翔	
01:00	東京ポッド許可局 マキタスポーツ・プチ鹿島・サンキュータツオ	
02:00	脳盗 TaiTan・玉置周啓	
03:00	さらば青春の光がTaダ、Baカ、Saワギ かが屋の亀の間	
04:00	Music Palette 宮本佳林	

	日	交通 情報
05:00	ニュース・天気予報 閑談のヒロバ イトーとスドーのモノ申し隊 桂宮治「これが宮治でございます」 こども音楽コンクール 日比麻音子 小倉・IMALUの〇〇玉手箱 小倉淳・IMALU 相川圭子 幸せへのメッセージ ニュース	
06:00	目覚めのウルフ ウルフアロン	
07:00	石川貴 DAIRY LIFE	
08:00	ONE-J 本仮屋ユイカ	08:55
09:00	安住紳一郎の日曜天国 安住紳一郎・中澤有美子	10:18 10:53 11:25 11:50
10:00		
11:00	のどの意 土井敏之 Angie Radio!! ～夢は口に出せば叶う!～ アンジェリーナ1/3 12:30 夢はココから!サンデー! ニュース・交通情報	12:58
12:00	爆笑問題の日曜サンデー 爆笑問題 アシスタント 篠原梨菜(1～4週) / 外山恵理(5週)	13:28 13:57 14:28 14:53 15:22 15:55 16:22 16:56
13:00		
14:00		
15:00		
16:00	16:40 中嶋常幸のティーグラウンドへようこそ!	
17:00	超ときめき♡宣伝部の超ときめくときを。 竹中直人～月夜の蟹～ 竹中直人・菅川玲奈	
18:00	宮舘涼太のロイヤルサロン ミラクル・サイクル・ライフ 石井正則・疋田智	
19:00	川島明のねごと	
20:00	稲村亜美と司法書士 ニュース・天気予報 ラジオ「五等分の花嫁」 天津飯太郎	
21:00	中村七之助のラジオのすけ コシノジュンコMASACA コシノジュンコ・出水麻衣 エンタメ満載!ここだけの話 山内あゆ・長尾寛	
22:00	井上芳雄 by MYSELF 今夜は 吉永小百合です	
23:00	夜のPodcast散歩 ※7月19日まで、7月26日から新番組 みうら五郎 みうらじゅん・山田五郎	
24:00	林原めぐみのTokyo Boogie Night 高見沢俊彦のロックばん	
01:00	文化系トークラジオ Life ※複数月最終週 それ以外は1:00～4:00放送休止	
02:00		
03:00		
04:00	にゅーとぴ♪ おかゆ	

TBS
ラジオ
プレス

夢、叶いましたー！

TBSラジオ
FM90.5・AM95.4

2026年7・8・9月号

TBS RADIO
FM90.5・AM95.4